

プレスリリース

国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所

海技研クラウド、始めます！

～各種プログラムやデータベースをクラウド上で利用可能に～

国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所（所長 安部昭則）は、令和3年6月28日（月）、海上技術安全研究所（海技研）のプログラムやデータベースを web 上でご利用いただける海技研クラウドサービスを開始します。

海技研では、これまで海事産業の活性化・発展のため数多くのプログラムやデータベースを開発、提供して参りました。従来、これらのプログラム・データベースは CD や冊子等の物理的な手段で皆様にご提供して参りましたが、今後は海技研クラウドをプラットフォームとしてご提供することが可能になります。これにより、即応性の高いサポートの実施、最新プログラムご提供方法の円滑化、web アプリケーション同士の連携等の海技研ツールの利便性が向上します。

海技研クラウド URL： <https://cloud.nmri.go.jp>

今回の公開時点で利用可能なプログラム等は以下の通りです。（※）

- ・ HOPE Cloud（船舶性能簡易推定ツール）：船舶の主要目から馬力曲線を推定するツール（有料）
- ・ 日本近海の波と風のデータベース：10年間の有義波高等を統計解析したデータベース（有料）
- ・ CRAS-AI（AI 貨物輸送経路分析システム）：Deep Learning により貨物の輸送経路を推定するシステム（無料）
- ・ 水槽オンライン立会システム：400m 水槽で試験を実施するユーザー向けのオンラインサービス（有料）

（※）ご利用にあたっては、別途契約が必要なプログラムがあります。

“海技研クラウド”は、海事・海洋分野のオープンイノベーションを加速させることを目的としたプラットフォームとして、クラウド技術を活用した高度で利便性・拡張性の高いソリューションを皆様にご提供いたします。

日本の海事産業活性化のお役に立てるよう、今後も、クラウド上のプログラム等の拡充を図り、研究サービスのより一層の向上を目指して参ります。

(ご参考)

国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所（以下、海技研）は、2030年に向けた研究ビジョンの中で AI, IoT, Big Data を海技研の全研究の基幹とし、データサイエンスによる新しい造船設計体系を作ること掲げています。今回のクラウドサービス開始は、この研究ビジョンの一環として行われるものです。



海技研クラウドロゴ

<問い合わせ先>

国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所  
海上技術安全研究所 企画部広報係

Tel : 0422-41-3005 Fax : 0422-41-3258

E-Mail : [info2@m.mpat.go.jp](mailto:info2@m.mpat.go.jp) URL : <https://www.nmri.go.jp>